

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名: 薬学部・薬学研究科

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 実施に向けた準備を進めるとしていた大学院講義の英語化の一部、協定校で実施している海外研修、PharmD コース学生の海外研修の学部・研究科授業科目としての単位化について、準備のみならず実施に至ったことが評価できる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 独自の海外派遣プログラムを実施(受け入れ6名(中国)、派遣 19 名(米国、中国))した。また新たに「スーパーグローバル大学創成支援事業賞」を設置し、当研究科に留学し、学業成績が優秀であり、国際交流に尽力した学生(大学院生を含む)を対象に表彰するなど、教育のグローバル化に対しても積極的な実践を行ったことが評価できる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。